

広 報 費

小計 1,579.820円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報 費	頁小計	711,040 円	備考	
------	-----	-----------	----	--

2025年 6月⁶日

領 収 書

No. 289379

日本共産党 町田市議団

様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2025年5・6月号	¥710,600 -

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

電 話 03 (3497) 0 5 3 1 (代表)



〈ご利用明細票〉 きらぼし銀行

毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
どうぞお取引内容をお確かめください。

お取引内容	機番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	P2	7938	07-06-06
銀行番号	支店番号	科目	口座番号
0597	0010		*****
万円	5千円	千円	500円
			100円
			50円
			10円
			5円
			1円
お取引番号	お取扱時間	ご利用手数料	お取引金額
8541	17:40	¥440	¥710600
お振込手数料	お取引後残高		

(000068)

みずほ銀行
新宿西口支店
普通預金 1097253

アカツキインサツ(カ) 様

案ニホンキヨウサントウマチタシギタツン 様

内 電話 042-724-4030

別紙に貼る。

裏面のご案内もご覧ください。

T3106-0892-0926

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報 費	頁小計	434,390 円	備考
------	-----	-----------	----

2025年 9月 8日

領 収 書

No. 291256

日本共産党 町田市議団

様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2025年8・9月号	¥433,950 -

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

電 話 03 (3497) 0 5 3 1 (代表)



3



〈ご利用明細票〉きらぼし銀行

毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
 東京きらぼしFG どうぞお取引内容をお確かめください。

お取引内容		機番	お取引通番	ご利用年月日
お振込		U3	9641	07-09-08
銀行番号	支店番号	科目	口座番号	
0597	0010		*****	
紙幣枚数		硬貨枚数		取扱店番
万円	5千円	千円	500円	100円
			50円	10円
			5円	1円
				832
お取引番号	お取引時間	ご利用手数料	お取引金額	
5268	08:58	¥440	¥433950	
お取引不能コード	おつり	お取引後残高		

に貼る。

4

(000004)
 みずほ銀行
 新宿西口支店
 普通預金 1097253
 アカツキインサツ(カ) 様
 ニホンキョウサントウマチダシキタン 様
 電話 042-724-4030

裏面のご案内もご覧ください。

T3106-0892-0926

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	434,390 円	備考	
-----	-----	-----------	----	--

2025年12月 4日

領 収 書

No. 292780

日本共産党 町田市議団

様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2025年11月号	¥433,950 -

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
電 話 03 (3497) 0531 (代表)



〈ご利用明細票〉きらぼし銀行

毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
どうぞお取引内容をお確かめください。

お取引内容	機番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	P4	7510	07-12-04
銀行番号	支店番号	科目	口座番号
0597	0010		*****
紙幣枚数	硬貨枚数	取扱い店番	
万円	5千円	千円	500円
		100円	50円
		10円	5円
		1円	
			832
お取引番号	お取引時間	ご利用手数料	お取引金額
1618	08:50	¥440	¥433950
お取引手数料	お取引後残高		
おつり			

(000002)

みずほ銀行
新宿西口支店
普通預金 1097253
アカツキインサツ(カ)様

案 二ホンキヨウサントウマチダシキダツン 様

内 電話 042-724-4030

紙に貼る。

裏面のご案内もご覧ください。

T3106-0892・0926

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

日本共産党 町田市議団 御中

請求書

請求日 2025年5月31日

納品日 2025年5月26日

あかつき印刷株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

Tel. 03-3497-0531 Fax. 03-3497-0043

登録番号 T1011001000813

お客様コード:

品名	町田市議団ニュース2025年5・6月号	号数	5・6月号	受注No.	289379
規格	タブロイド 406×273 4頁 4色×4色	数量	82,000	注文No.	289379

内 訳	数 量	金 額	備 考
デザイン・編集代		160,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		7,600	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		16,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		30,400	
印刷代		114,800	
製本・加工代			
発送結束代			
用紙		250,000	
発送・運賃		63,200	

小 計 (税抜)	646,000	10%対象	646,000
消 費 税	64,600	10%消費税	64,600
切手・ハキ等立替金 (税込)		10%対象	
		10%消費税	

税抜合計	¥646,000
消費税合計	¥64,600
合計請求額	¥710,600

摘 要

振込先口座 みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253)
りそな銀行新宿支店 (普・522185)
中央労働金庫新宿支店 (普・2312142)
郵便振替 00170-8-52646

上記の通り御請求申し上げます。

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

日本共産党 町田市議団 御中

請 求 書

請求日 2025年8月31日

納品日 2025年8月14日

あかつき印刷株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

Tel. 03-3497-0531 Fax. 03-3497-0043

お客様コード:

登録番号 T1011001000813

品 名	町田市議団ニュース2025年8・9月号				号 数	8・9月号	受注No.	291256
規 格	タブロイド	406×273	2頁	4色×4色	数 量	81,000	注文No.	291256

内 訳	数 量	金 額	備 考
デザイン・編集代		80,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		3,400	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		12,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		28,000	
印刷代		56,700	
製本・加工代		12,300	
発送結束代			
用紙		165,000	
発送・運賃		33,100	

小 計 (税抜)	394,500	10%対象	394,500
消 費 税	39,450	10%消費税	39,450
切手・ハキ等立替金 (税込)		10%対象	
		10%消費税	

税抜合計	¥394,500
消費税合計	¥39,450
合計請求額	¥433,950

摘 要

振込先口座 みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253)
りそな銀行新宿支店 (普・522185)
中央労働金庫新宿支店 (普・2312142)
郵便振替 00170-8-52646

上記の通り御請求申し上げます。

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

日本共産党 町田市議団 御中

請求書

請求日 2025年11月30日

納品日 2025年11月7日

あかつき印刷株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

Tel. 03-3497-0531 Fax. 03-3497-0043

登録番号 T1011001000813

お客様コード:

品名	町田市議団ニュース2025年11月号	号数	11月号	受注No.	292780
規格	タブロイド 406×273 2頁 4色×4色	数量	81,000	注文No.	292780

内 訳	数 量	金 額	備 考
デザイン・編集代		80,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		3,400	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		12,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		28,000	
印刷代		56,700	
製本・加工代		12,300	
発送結束代			
用紙		165,000	
発送・運賃		33,100	

小 計 (税抜)	394,500	10%対象	394,500
消 費 税	39,450	10%消費税	39,450
切手・ハガキ等立替金 (税込)		10%対象	
		10%消費税	

税抜合計	¥394,500
消費税合計	¥39,450
合計請求額	¥433,950

摘 要

振込先口座 みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253)
りそな銀行新宿支店 (普・522185)
中央労働金庫新宿支店 (普・2312142)
郵便振替 00170-8-52646

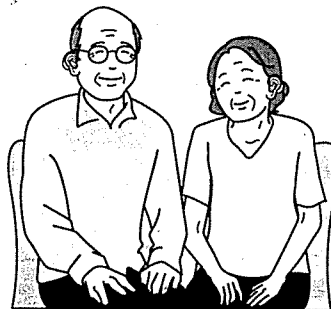
上記の通り御請求申し上げます。

町田市議会
2025年
第1回定例会

補聴器購入助成

日本共産党
町田市議団

町田市でも4月から実現へ



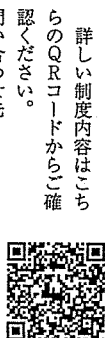
●市内在住の65歳以上の方
●市民税非課税の方
●医師（耳鼻咽喉科医）による診察と聴力検査の結果（原則として両耳とも平均聴力レベルが40dB以上70dB未満で

対象は、以下の要件をすべて満たす方です。
高齢者の加齢性難聴への補聴器購入補助制度は、2019年に日本共産党市議団が市議会でもいち早く取り上げ、実施を求めてきました。さらに市民から、助成制度を求める請願が繰り返し出されてきました。ついに、その願いが実現し、新年度予算に「高齢者補聴器購入助成」が盛り込まれました。

あること、補聴器の必要性がある
と認められた方
●身体障害者手帳の聴覚障害の項目が「聴覚障害」の項目となっている方
●過去5年間にこの事業による助成を受けていない方
●アンケートへの回答と介護予防事業等への参加に協力いただける方
補助額は上限3万円です。東京都が半分補助を出すのですが、その上限は14万4千9百円なので、さらに補助額を上げ、所得制限をなくすよう議会でも論議されています。

一方、市民から出された「補聴器購入費の補助制度を導入することを求める」請願は3月、6月議会と継続審査になっていったものの、賛成したのは共産党と無所属の会、諸派3名のみで、他の議員は予算には賛成しながら請願は反対しました。

詳しい制度内容はこちらのQRコードからご確認ください。
いきいき生活部 高齢者支援課
電話：042-724-1214



共産党市議団

6年前から提案

町田市議会2025年第1回定例会が、2月20日～3月27日まで行われました。25年度一般会計予算に対して、日本共産党は田中美穂市議が討論を行い、反対しました。また、共産党市議団が提出した「都議会自民党」の裏金問題の真相解明を求める決議は、自民党などを除く賛成多数で可決しました。市民から出された切実な要求実現や請願採択に積極的論議を行いました。

「都議会自民党」の裏金問題の真相解明を求める決議」賛成多数で可決！

多摩26市の購入費補助の事例

自治体名	対象年齢	補助額上限
八王子市	65歳以上*所得制限なし	5万円
府中市	65歳以上*所得制限あり	4万円
三鷹市	18歳以上*所得制限あり	4万円
武蔵野市	65歳以上*所得制限なし	5万円

みなさんとともに実現 18歳までの医療費助成拡充・ 児童相談所設置へ

市民の皆さんと運動を進めてきた子どもの医療助成制度が、この4月から18歳未満まで所得制限が撤廃されました。義務教育を終えた高校生等（学校に通っていないか、仕事をしているか）12000人すべてが対象になります。

また、6月1日から、山崎団地の一角に都立児童相談所がスタートします。2000年5月に町田市で起きた幼児虐待死亡事件以来、児童虐待防止の専門機関である児童相談所の設置は市民の悲願であり、党市議団も求め続けてきました。事件後、町田市が設置した子ども家庭支援センターも同じ場所に移転して、東京都と町田市がこれまで以上に連携して、子どもの命や安全を守り、子育て支援を行うこととなります。



6月開所の東京都町田児童相談所

給食費無料化と共に温かい 中学校全員給食実現！

24年度3学期から始まった、小中学校の給食費を第一子含め全員無料にする予算が、盛り込まれました。

同時に、中学校は全員給食ではなく持参のお弁当が、申し込み式のランチボックスに限られていました。中学校給食センターが整備された地域から全員給食がスタートして、1月から鶴川エリア、4月から町田・忠生・小山エリアの各中学校に届けられています。食卓に入った温かい給食は汁物などメニューも多様で、子どもたちにも好評です。また、米などの食料費の高騰が、給食の質や量の低下を招くのではという心配もあります。共産党市議団の一般質問に對



町田忠生小山エリア中学校給食センターと献立

南エリアは10月から実施

南エリアの給食センターは建設工事の遅れにより、全員給食の開始は10月からになります。それまでの間、ランチボックスを給食として位置づけ、抽選で決定します。4月は、900食のランチボックスに約2100人が申し込み、抽選に漏れた生徒は給食費分が支給されます。給食センター工事が安全に進み、予定通り全員給食がスタートできるよう引き続き求めていきます。

し、教育委員会は「食当たりの食料費の引き上げを検討している」と答えました。

日本共産党
町田市議団ニュース

2025年5・6月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団 検索

日本共産党代表質疑 —大型開発より市民の暮らし、教育の充実を求めて—

市長の施政方針や今年度の事業について、細野りゅう子市議が代表質疑を行い、市長が答えました。

問、新たな学校づくり推進計画の学校統廃合について、多くの市民から不安や心配の声が上がり、学区外の学校に転校する児童が多数生まれている。市民が納得も合意もできない計画は見直すべきだがどうか。

答、未来の子どもたちにより良い教育環境を作る整備するため全国に先駆けた取り組みで、子どもたちの声や思いを形にし、地域のみなさと意見交換を重ねながら進める。

問、「町田駅周辺開発推進計画」が、中心市街地の4つの地区ごとに進められている。資材や人件費の高騰の中、箱モノ事業を見直す自治体も生まれているが、予算規模や予測される市財政への影響について問う。

答、町田駅周辺開発については、民間事業者が開発主体となる事業を想定。デッキやバスターミナルなど公共施設は財政負担が必要だが、予算規模は現時点は未定である。

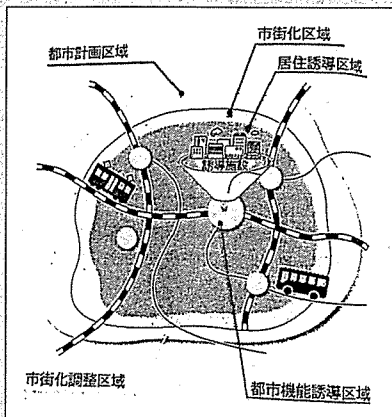
問、芹ヶ谷公園「芸術の杜」に整備予定の国際工芸美術館整備は樹木の伐採など自然を壊し、住民は「計画の見直し」の声をあげているが、どのように応えるのか。

答、より多くの方にガラスと陶磁器をご覧いただく場として、早期に完成していく。地域住民や市民に丁寧に説明しながら、事業を進めていく。

その他、「子どもにやさしいまち条例」を機能させるための第三者機関の設置、多摩都市モノレール沿線まちづくりにおいて現在の住民の声の吸い上げについて、野津田公園の湿生植物園など環境保全のために第二次野津田公園整備基本計画の見直し、2030年までの温室効果ガス削減目標の引き上げについてなど12項目にわたり質疑しました。

「立地適正化計画」—“稼げるまちづくり”で住民の暮らしと地域が壊れる

4月25日の都市計画審議会で、「町田市立地適正化計画の策定について」(答申)案が審議され、賛成多数で承認されました。共産党市議の殿村健一委員は、意見を表明し、反対しました。同「計画」は、都市再生特別措置法改正により制度化。居住機能と都市機能の誘導による「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりが目的で、町田駅など4つの拠点駅と多摩都市モノレールの主要駅や沿道への機能誘導です。町田駅周辺再開発や大規模団地再生によって森野住宅や木曽山崎団地が集約され、市民が住み続けられないまちにしようという計画です。国土交通省は、その効果として、サービス産業の生産性向上、行政コストの削減、地価の上昇など、公共住宅や学校など公共サービスを減らし、“稼げるまちづくり”をする「コンパクト・プラス・ネットワーク」計画はやめるべきです。



立地適正化計画に定める区域

市民の暮らし

公共事業で働く人の 公契約条例を

細野りゅう子市議は、町田市が公共事業で結ぶ契約（において働く人の賃金単価を定める条例を整備するよう）しました。市の公契約の件数と金額を聞くと、総務部長が課が行った2024年度（2月時点）の契約は工事115件、千五百万弱、業務委託 499件、101億7600万円余。公共事業が地域経済や事業者、労働者に大きな割合を占めると条例をつくることの必要性を指摘。総務部長は、条例の効果や影響を注視しながら、研究していくと答弁した。

地域活用型学校による使用料金の 値上げはやめよ

町田市が進める「地域活用型学校」については、現在や社会教育施設を設置することは可能で、用途地域を変更する必要はないと求めました。また、学校施設の有料を質し、より活用しやすい施設の利用を検討していること検討中という答弁でした。

PFOS検出！地域の地下水の徹底調査を

PFOSが検出された事業所周辺の飲用井戸に限定して地下水の検査を広く生活用井戸にも拡充すべきだがと求め、環境資源部長が、半径1kmにある井戸について調査すると答弁しました。

不登校児童生徒への

田中美穂市議は、給食無償化について、不登校児童生徒に対して給食費相当の昼食代の支給を行うことを求めました。教育部長は、東京都の補助要綱で不登校児童生徒が対象になっていることを理由に、実施の予定はないと答弁。不登校生徒の家庭での昼食の負担についての認識を問うと、「この声は寄せられていない」と答弁があり、田中市議は態把握を求めました。

聴覚障がい者が日常に使える 遠隔手話サービスを求めて

田中市議は、飯能市で行われているスマートフォンのった、遠隔手話サービス事業について、日常的な場面であり、導入の検討を求めました。地域福祉部長は、現口での導入について検討を進めている、また、さまざま研究したいと答弁しました。

小野路工区の気泡湧水の発生はリニア

田中市議は、JR東海が昨年の小野路工区の湧水と気あることを認めたことについて質問。こうした事象を引事状況の情報発信が少ないことを指摘すると、政策経営・JR東海に対して要請していると答弁しました。

し、福祉、教育第一の市政求めた

本共産党市議団の一般質問

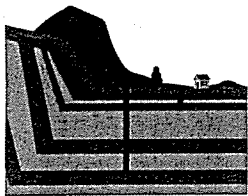
賃金守る

公契約)
うに求め
が「契約
59億5
と回答。
与めるこ
也自治体
しました。



細野りゅう子市議

も市民への学校施設の貸し出し
えて、学校教育施設の目的を変
化や値上げを検討しているのか
と、使用料の値上げや有料化も



食支援を

生徒に対
た。学校
家外にな
登校児童
負担があ
市議は実



田中美穂市議

アプリを使
使えるもの
在、行政窓
な手法につ



工事が原因

泡の発生の原因がリニア工事で
引き起こしたにもかかわらず、工
部長は迅速に情報提供するよう

身寄りのない高齢者への終活支援を

いきいき生活部長は、「高齢者支援センターで終活相談等を受け付けており、現時
点で「終活サポート事業」を実施する予定はないが、国が昨年始めた身寄りのない
高齢者への終活支援モデル事業（身元保証や死後の事務処理など）の活用について
は研究していく」と答弁しました。

市営の共同墓地設置を求める

環境資源部長が、町田市民分区分画がある南多摩都市霊園は八王子市が管理運営し
ており、現時点では共同墓地を提供する予定はないと聞いていますと答弁。

高齢者が地域で暮らし続けるための介護保険制度へ

要介護認定の判定期間短縮や介護人材確保を求めた質問には、いきいき生活部長が、「認定調査のA1化
をすすめ、審査会の開催回数も増やして短縮を図る。介護人材確保のため事業所に対して実務者研修などの
受講料を補助する」と答弁。

都県境を超えてもシルバーバスが使えるように

東京都が新年度予算案に料金引き下げと合わせて、制度改善に向け
た利用実態のデータ収集などICカード化に向けたシステム改修を検
討しているので、その動向を注視していくと担当部長が答えました。

※横浜市や川崎市では敬老バスのIC化により、都県境を超えた路線全部でシ
ルバーバスが利用できるようになっています。



境川を超えて神奈川県に入る路線バス

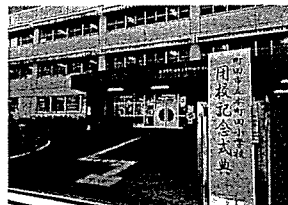


佐々木とも子市議

町田木曽団地から学校がなくなる!

2月14日の本町田小学校「閉校式」に参加。5、
6年生が「ふるさと」を合唱しました。統合校の「本
町田ひなた小」は、3年後、町三小と統合し、移
転します。団地から学校をなくす「計画」は見直
すべきと要求。「計画」通り進めると、教育部長が
答えました。

「閉校式」が行われた本町田小学校（25.2.14）



殿村健一市議



ステッキを使い駅前のデッキを歩く市民

ステッキで安心して歩ける町田駅に

通勤者の中にもステッキを使って歩行する人が増え
てきました。小田急町田駅北口やJR町田駅ターミナ
ル改札口とホームの間にエレベーターやエスカレーターを設置を要求。

みずほ銀行前歩道の改修を要求。施設管理者に伝えたと都市づくり部長か
ら答弁しました。

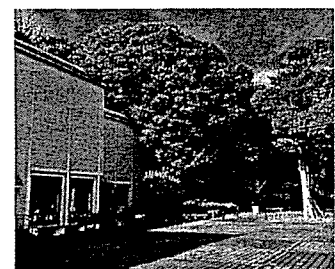
芹ヶ谷の谷戸の原風景を壊す「計画」は撤回を

（仮称）国際工芸美術館整備工事を落
札した業者が契約辞退した理由について

質問。財務部長は、（市が）納得できる説明がないと答弁。全国に例が
ない異例な事態について徹底分析するとともに、整備「計画」は白紙
に戻すべきと主張しました。

開発利益優先やめ住まいの権利保障を

森野住宅周辺再開発では、大手デベロッパーが2億円などという高額
物件を販売するタワマンが建つのかとの質問に、都市づくり部長は、再
開発の仕組みとしてはあると答弁。住民の住まいの権利保障を求めました。



保全が位置づけられている
芹ヶ谷公園のシンボリックなケヤキ

学校統廃合計画の 一部修正

根本的な見直しを

町田市教育委員会は、「町田市新たな学校づくり推進計画（一部修正）」について報告しました。存続を求める請願が議会で採択された「ゆくのき学園」の統合時期が明記されたり、統合時期が早まる学校もあり、大きな問題があります。校舎整備費の高騰という状況のなかで、整備期間を3年から4年とする変更とともに、2030年までに単学級化や過少規模化する学校について最優先とする方針も出されました。第1期に統廃合が進められている学校は、統合後に24学級になる学校が複数あり、なぜ先行して統廃合が行われたのか当事者の納得がさらに得られない内容になっています。第3期については時期を未定としながら、計画から外していないと言います。学校がなくなる不安をいざ知らず与えるのではなく、統廃合対象から外すべきです。共産党市議団は、新たな学校づくり推進計画の抜本的な見直しを、市民の皆さんとともに求めています。

小学校の統廃合・建て替えの時期（赤字は変更箇所）

上：当初の計画年度
下：一部修正後の年度

期	学校名	学校候補地	基本計画検討 着手目標年度	想定統合年度	新校舎使用 目標年度
第2期	南第三		2027	2033	2033
	南第四	○	2026	2034	2034
	小山田		2024	2031	2031
	小山田南	○	2026	2035	2035
	町田第六	○	2027	2031	2034
	高ヶ坂		2027	2031	2035
	南大谷			2036 第3期に統合	
	町田第四	—	2027 2028	—	2034 2036
	山崎		2027	2030	2033
	七国山		2030	2035	2035
	山崎中学校の場所	○			
	成瀬台	○	2033	2036	2039
	成瀬中央		2031	2035	2039
	相原	○	2040年度までに 検討		
第3期	ゆくのき学園 (大戸小)		2032	2037	2041
	藤の台				
	金井				
	金井スポーツ広場	○			
	町田第五	—			
	忠生第三				
	木曾境川	○			
	つくし野	○			
	南つくし野				
	忠生				
	図師	○			
	鶴川第一	○			
	大蔵				
			2033年以降に 基本計画着手		

中学校の統廃合・建て替えの時期

期	学校名	学校候補地	基本計画検討 着手目標年度	想定統合年度	新校舎使用 目標年度
第2期	栗師		2024	2027	2030
	金井	○	2025	2028	2031
	町田第三		2025	2031	2031
	山崎		2026	2033	2033
	旧本町田小の場所	○			
	鶴川第二	○	2030	2036	2036
	真光寺		2030	2034	2038
	成瀬台	—	2031	—	2039
	堺	○			
	ゆくのき学園 (武蔵岡)		2040年度までに 検討	2037	2040
第3期	町田第二	—			
	忠生	○	2033年以降に 基本計画着手		
	小山田				

無料法律相談

6月11日(水)・25日(水)

7月9日(水)・23日(水) 午後2時～5時

要予約 ☎042-723-6312まで

※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

町田市役所3階
共産党会派室

生活相談はいつでもお受けします
042-724-4030 日本共産党会派室

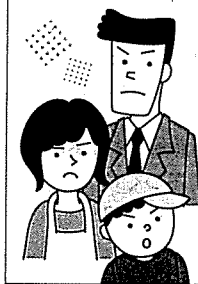
生活苦しいのに「国保税」も「ビドイ」 「後期高齢者医療保険料」も値上げに!

町田市は、物価高騰や年金削減で市民のくらしが厳しい中、国民健康保険税の8年連続の値上げを強行。今年度は、一般会計からの繰入金金をゼロにするために、1.7億円分を被保険者負担にして、一人当たり116,535円/年(1,325円増額)に。モデルケースの3人世帯では、年額471,800円(4,900円増額)と高すぎる保険税に悲鳴が上がっています。



後期高齢者医療保険料は、令和6年度の低所得者への激変緩和措置がなくなり、その対象者であった旧但し書き所得58万円以下(公的年金収入額168万円～211万円)の人が値上げとなっています。

日本共産党は、市民のくらしと命を守るために、国保税は一般会計からの繰り入れを増やし連続値上げを行わないこと、後期高齢者医療保険料も値上げはすべきでないと反対しましたが、共産党以外の賛成で可決されました。



モデル3人世帯

(夫43歳 所得260万円、妻41歳、子ども小学生1人)

国保税

改定前……466,900円/年
改定後……471,800円/年
(4,900円増額)

「都議会自民党」の裏金問題真相解明求める意見書可決!

請願・議員提出議案

日本共産党
市民クラブ
まちなつ
公明党
自由民主党
町田
無所属の会
諸派
議決結果

請願	日本共産党	市民クラブ	まちなつ	公明党	自由民主党	町田	無所属の会	諸派	議決結果
加齢性難聴者の補聴器購入の助成を早期に求める請願	○	×	×	×	×	○	△		不採択
子どもたちと保護者の声を聴いてください!南成瀬小と南第二小をそのまま存続することを求める請願	○	×	×	×	×	○	△		不採択
不登校やいじめ等の課題に配慮して、少なくとも国の適正規模をどちらかの学校が下回る実績ができるまでは、南成瀬小と南第二小の統合の延期を求める請願	○	×	×	×	×	○	△		不採択
国民健康保険税の値上げを行わないことを求める請願	○	×	×	×	×	×	×		不採択
新たな学校づくり第1期:鶴川地域の計画の1年延期を求める請願	○	×	×	×	×	○	△		不採択
公民館の存続を求める請願	○	×	×	×	×	×	△		不採択
芥ヶ谷公園「芸術の杜」推進事業について2025年度予算(美術館事業)を白紙にすることを求める請願	○	×	×	×	×	○	△		不採択
議員提出議案									
「都議会自民党」の裏金問題の真相解明を求める意見書	◎	○	○	×	×	○	△		可決
高額療養費限度額引き上げの撤回を求める意見書	◎	△	×	×	×	○	△		否決

◎提出、○全員賛成、×全員反対、△一部賛成

町田市議会
2025年
第2回定例会

不登校 町田市で1350人!

～“保健室登校”の子どもたちにも十分な支援を～

日本共産党町田市議団



要な子どもは、早期支援の必要

不登校への 抜本的支援求める

2025年第2回町田市議会定例会が、6月2日から25日まで行われました。第1子からの保育料等無償化事業などが盛り込まれた一般会計補正予算は全会一致で可決、学校統廃合新設校での建築物の規制緩和と内容とする教育環境整備地区条例一部改正条例に共産党は反対しましたが、多数で可決しました。共産党市議団が紹介議員になった「日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める意見書提出についての請願」は賛成14(共産、市民、無所属など)、反対17(自民、公明など)の賛成少数で不採択となりました。

『日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める意見書提出
についての請願』が、自民公明などの反対で不採択に

小学校にも校内教育 支援センターを

佐々木市議は、青森市の実践例を紹介しながら、小学校への校内教育支援センターの設置や、子どもの不登校に戸惑う親への支援を手厚くするために、フリースクール費用の軽減(東京都からは2万円支給)や通学費・昼食代(給食費)の支援を求めました。総務部長からは、子どもの不登校で仕事を休まざるを得ない職員は介護休業制度の対象になるとの答弁がありました。

日本共産党が発表した「不登校についての提言」(2025・5・23)では、「子どもの権利を尊重し、子どもも親も安心してできる支援」「過度の競争と管理をやめて、子どもを人間として大切に育てる学校を」と、国の政策転換と子どもを人として尊重する社会を築くことを求めています。日本共産党市議団は、学校に行けても行けなくても、子どもが安心して学べる場所や不安に寄り添う不登校支援を求めて、これから



「不登校について
の提言」

町田市の公立小・中学校の不登校人数

	2015年	2024年	増加率
小学校(42校)	113人	484人	4.3倍
中学校(20校)	316人	866人	2.7倍

“学校給食”物価高騰対応に 1億8,900万円予算化

町田市は6月補正予算で、物価高騰の影響を受けている学校給食において、児童・生徒に十分な量や栄養バランスが取れた給食を提供するため、2025年7月1日から、国や東京都の財源を活用して一食あたりの給食費を引き上げるとしました。給食費の完全無償化は継続されるので、保護者負担はありません。日本共産党市議団は、「おかずの量が少ない」「好きなメニューが減った」などの子どもたちの切実な声に応じて、みんなが楽しみにしている学校給食の質・量を守るために、市議会でも引き続き求めていきます。



	現行の給食費 A	引き上げ後の給食費 (A×113.6%)	差引
小学校(低学年)	245円/食	279円/食	34円
小学校(中学年)	275円/食	313円/食	38円
小学校(高学年)	300円/食	341円/食	41円
中学校	330円/食	375円/食	45円

学童保育クラブ 学校統廃合で大規模化

学校統廃合に伴い、学童保育クラブが統合され、大規模学童になっています。今年度から統合となった本町田ひなた学童クラブは112人、成瀬学童クラブは197人です。市は、職員の引き継ぎ期間の延長、バス停や駐車場の見守りの方の配置などを行っています。保護者からは引き続き心配の声が寄せられています。

田中美穂市議は一般質問で、来年度統合予定の鶴川3小、鶴川4小の学童保育クラブについて利用児童が2倍以上の190人になる想定のもと、現状でも学童クラブのある棟にトイレの数が足りずに時間によっては行列ができている、児童数に合わせて指導員の人数も増えるが、職員用の部屋が確保できるのかなどを取り上げました。子ども生活部長は、本校舎の使用を含めて調整すると答弁しました。田中市議は、そもそも学校の統廃合の見直しが必要と求めました。

日本共産党
町田市議団ニュース

2025年8・9月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団 検索

日本共産党市議団の一般質問

学校統合で子どもたちの生活は

細野りゅう子市議は4月から始まった統合新設校の子どもや状況について質問。統廃合により通学路が遠くなった子どもたちの状況を問い、本町田ひなた小は約20人、成瀬小は2人が路線バスを利用しているが、1.5kmを超えても路線バスが利用しにくい場合もあり、スクールバスの検討を要望しました。子どもたちを見守るスクールカウンセラーの増員を求めましたが、成瀬小は週2日に増やしていると教育部長が答弁。さらに増やすように求めました。また路線バスの減便が続く中、コミュニティバス、福祉有償運送を市の公共交通計画に盛り込むことを求め、検討していくと都市づくり部長が答弁しました。



細野りゅう子市議

孤食なくす子ども食堂に支援を

佐々木とも子市議は、増え続ける不登校の現状と保健室など別室登校している児童生徒への抜本的支援について質問。

(1面参照)市内に31か所開設している子ども食堂への行政支援の在り方を問う質問には、子ども生活部長が、運営費用を対象に補助金を交付しているほか、町田市子ども食堂ネットワーク連絡会の開設やスタッフ研修会を実施していると答弁。また、4月1日から始まった高齢者補聴器購入助成制度の周知徹底と、助成対象や金額の拡大を求めました。



佐々木とも子市議

事故を起こしたりニア工事
説明会の改善を求めて

田中美穂市議は、小野路のリニア中央新幹線の説明会の開催について、会場への交通の不便さ、回数が少ないことについて市がJR東海に対して改善を求めるよう質問しました。市は丁寧な説明を求めるとしながらも、会場が不便かどうかは答えませんでした。その後、地域の方からの意見や質問に対応する窓口として町田分室設置がされています。(問い合わせ: 042-850-9532 平日9時~17時) また、田中市議は、東京都の新たな補助制度を活用し、子どもの体格格差の解決のための取り組みを求めました。子ども生活部長は、すでにある事業や新たに実施する事業で対象となるものがあれば活用していくと答弁しました。



田中美穂市議

美観と安全に配慮したインター
ロッキング歩道の整備を

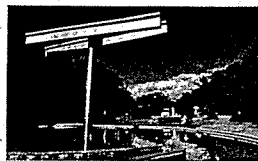
殿村健一市議は、森野住宅周辺地区の再開発と公社住宅建替えの関係について、住まいは人権の視点から質問。中心市街地担当部長は、都市計画決定前後に森野住宅居住者への建替え説明がされると答弁しました。800本の樹木伐採で谷戸の自然と原風景が壊される芦ヶ谷公園パークミュージアム計画は、白紙撤回を求めました。また、美観に配慮し安心して歩ける駅周辺等のインターロッキング歩道の整備を求めた質問に、道路部長は、町田駅から市役所までのインターロッキングブロックの張替えを来年度から実施すると答えました。



殿村健一市議

仮契約解除した芦ヶ谷公園
整備「計画」は白紙に

(仮称)国際工芸美術館整備請負工事は3回の入札が不調になり、その後落札、昨年10月23日市と仮契約を結んだスターツCAM(株)が仮契約解除を申し出たため、市は、4月14日付で同契約を解除しました。そして市は、スターツCAM(株)に対して5月30日付で8億9500万円の損害賠償請求を行った旨を6月13日の総務常任委員会で報告しました。一方、6月11日の殿村健一市議の一般質問には、総務部長が、損害賠償請求については「相手もあるので申し上げられないが、しかるべきタイミングで説明する」と答弁をしたことは極めて不誠実であり問題です。



谷戸の地形を生かした芦ヶ谷公園

先行して進めている(仮称)案内棟とエレベーター棟の2件の工事契約も不調になっていることや、周辺住民へのアンケート調査結果からも、芦ヶ谷公園パークミュージアム一体的整備計画は白紙にし、見直すべきです。

紙の
「医療保険証」
期限迫る

12月から発行中止になった紙の国保証などの医療保険証が、間もなく有効期限を迎えようとしています。マイナンバーカードに医療保険証を紐づけたマイナ保険証は、本人確認や個人情報の確認がうまくいかないこともあるため、マイナ保険証の保有者の8割近くが紙の保険証を利用していました。当初、紙の保険証の有効期限が切れた場合はマイナ保険証を利用するとしていましたが、厚労省は、期限切れの紙の保険証を来年3月まで利用できるようにすると通知を出しました。

また、マイナ保険証を持っていない人、75歳以上の後期高齢者医療保険の人には、1年間有効な「資格確認書」が全員に届き、紙の保険証と同様に使えます。

マイナ保険証の利用が困難な人は、市の保険年金課に申請すれば、「資格確認書」が届けられます。また、マイナンバーカードから医療保険証の紐づけを解除したい人は、市の保険年金課、各市民センターに申請すれば可能です。

共産党「バスの運転士不足解消を国・都に求める意見書」提出

請願・意見書	日本共産党	市議クラブ	公明党	自由民主党	浸透し党	無所属	諸派	可否
町田市教育環境整備地区建築条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	×	△	可決
バス運転士不足の解消等に関する意見書	◎	○	×	×	×	○	△	否決
擁壁設置工事及びエレベーター設置工事の実施を延期し、近隣住民と協議の場を速やかに設けることを求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
アート体験棟建設計画の中断を求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
より開かれた説明会と正確な情報開示を行い「市民が主役の公園づくり」を求める請願	○	△	×	×	×	○	△	不採択
子どもの命を守るために再調査報告書の提言の実施を求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
金井中学校・薬師中学校の統廃合計画の意見表明実施を求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
新たな学校づくり計画鶴川地域の統合計画変更を求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択

◎提出、○全員賛成、×全員反対、△一部賛成

無料法律相談

8月13日(水)・27日(水)

9月10日(水)・24日(水)

どうぞ
お気軽に

午後2時~5時

要予約 ☎042-723-6312まで

※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

町田市役所3階
共産党会派室生活相談はいつでもお受けします
042-724-4030 日本共産党会派室

町田市議会
2025年
第3回定例会

芹ヶ谷公園「(仮称)国際工芸美術館整備」 に赤信号 整備費28億→48億へ

市民参加でゼロから見直しを

日本共産党町田市議団



芹ヶ谷公園と(仮称)アート体験棟等整備予定地(右側)

町田駅近くの芹ヶ谷公園。園内には国際版画美術館が自然と調和した形で佇み、世を問わず多くの方に利用されている公園です。町田市では、この公園内の国際版画美術館の隣に、町田市立博物館(本町田)の収蔵品を保管展示する「(仮称)国際工芸美術館」を建設する計画が進められており、さまざまな問題が起こっています。存続を求める請願が採択された市立博物館を廃止し、新たな工芸美術館を作るにあたって、いまある国際版画美術館内の

市民から請願が

2025年第3回町田市議会定例会が、8月27日から9月30日まで行われました。9月補正予算(第3号)について日本共産党は、芹ヶ谷公園、芸術の杜、推進事業の「(仮称)国際工芸美術館整備事業」約19億円(本年度分)の増額が含まれており反対しましたが、賛成多数で可決されました。また、2024年度に執行された「町田市一般会計・特別会計 歳入・歳出決算認定」に対して、日本共産党は地方自治体の「住民の福祉の増進」という視点に立ったまちづくりや市政運営が行われなかったとして反対しました。党市議団提出の「生活保護費削減分の支給と謝罪を求める意見書」は賛成多数で可決。共産党が紹介議員になった「高齢者ホーム出張調髪利用券の発行継続に関する請願」も賛成多数で採択されました。

「速やかな生活保護費削減分の支給及び利用者への謝罪を求める意見書」賛成多数で可決

計画は破綻 まずは白紙撤回を

版画工房と喫茶店の部分をなくし、公園内に新たな建物を建てて移設するという計画です。工芸美術館を斜面地に建てることで樹木が伐採され、谷戸の原風景が壊れるとして近隣住民の方、工房利用者、市民の方々が反対しています。計画の見直しを求める請願、説明して意見を聞いてほしいなどの請願が繰り返して議会に出されています。

入札不調の次は 仮契約解除

さらに、「(仮称)国際工芸美術館」は資材高騰などで、整備費の増額が繰り返されています。(※表参照) 2024年は入札不調が3回も続き、施工会社との契約案件が2024年12月に議会でも可決(共産党市議団は反対)されましたが、年明けの1月には会社側から契約解除が申し入れられるという事態が起こりました。市民の声を聞かずに進められた計画に対し、仮契約解除という状況になった段階で、計画は一度中止し見直しをはかるべきです。前代未聞の事態が生じたにもかかわらず、町田市は今議会に再度補正予算で48億円の工事整備費を提案しました。

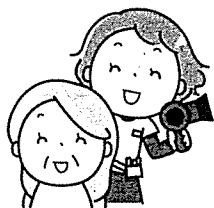
(仮称)国際工芸美術館整備費の変遷

議会	整備費
2022年3月議会	整備費予算 28億5千万円
2023年3月議会	整備費予算 33億円
2023年度	3回の入札不調 コンストラクションマネジメント による設計見直し
2024年3月議会	整備費予算 43億8千万円
2025年1月	(株)スターツCAMが仮契約 解除の申し出
2025年5月	市は同社に損害賠償請求
2025年9月議会	整備予算 48億4600万円

これまで市は、(仮称)国際工芸美術館の整備費削減の取り組みとして、美術館整備で発生する残土を公園内の他の工事に利用することで費用を削減できるとしていました。しかし、美術館の整備時期が遅れたことで、他施設の工事間でやりとりができなくなり、その分の費用が約1億円かかることもわかりました。工芸美術館を先に整備するという計画が破綻しても、スケジュールありきで進めようとするためにこうしたさらなる予算増につながっています。美術館だけでなく、関連事業の「(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟」についても、9月末に入札事業者がなく不調になっています。計画を進める道理や条件は完全に破綻しているという状況です。共産党市議団は、当初から、市民との合意形成のないままに進められてきた芹ヶ谷公園芸術の杜、(仮称)国際工芸美術館整備の白紙撤回、市民や専門家の参画で計画を見直すことを求めています。市民の暮らしをいかに支えるにしながら、整備費は増やし続ける本事業の見直しを引き続き強く求めていきます。

特養ホームの出張調髪利用券 なくさないで!

来年度から利用券を廃止するとして市に対して、市内の理容組合から提出された「町田市高齢者ホーム出張調髪利用券の発行継続に関する請願」は、健康福祉常任委員会では全員一致、最終日表決でも賛成多数で採択されました。党市議団は紹介議員になり、特養ホームに入所している1479人中、70%が利用する福祉補助制度であり、調髪に気持ちよく過ごすことは高齢者の尊厳にもかかわり廃止は許されないと賛成討論を行いました。



日本町田小 唯一のメモリアル 「希望の森」を残すべき

4月に統合校として開設された本町田ひなた小(旧本町田小跡地)の敷地に今でも残る「希望の森」は、地域住民から愛され、教育現場での子どもたちの成長に大きな役割を果たしてきました。町田市は、小学校用地の場所に、町田第三中と山崎中の統合校をつくり、運動場確保のため「希望の森」を壊そうとしています。町田木曽団地周辺から小中学校がなくなってきた中で、「希望の森」は唯一のメモリアルです。「希望の森」を生かした跡地利用の検討を求める請願は不採択(共産党は賛成)になりましたが、「希望の森」は残すべきです。



本町田ひなた小学校(旧本町田小)の「希望の森」

日本共産党
町田市議団ニュース

2025年11月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団 検索

日本共産党市議団の一般質問

「国民健康保険税」の値上げ中止を

細野りゅう子市議は、医療の国民皆保険制度を実現するために作られた国民健康保険は、物価高騰の中これ以上値上げすべきではないと求め、いきいき生活部長は「被保険者が医療費にかかる費用は、法定繰入以外は保険税で賄うようにするため、適正な保険税にしてい」と答弁、子どもの均等割りの廃止も求め、「国基準を超えて減免はしない」と答弁しました。また統廃合して200名を超えた成瀬学童保育クラブの「トイレや手洗い場の増設や居場所スペースの確保」を求めました。子ども生活部長は「タイムシェアで学校施設を利用している」と答弁しましたが、さらなる改善が必要です。



細野りゅう子市議

中学校全員給食全域でスタート！
より良い給食へ

田中みほ市議は、中学生から「給食時間が短い」と寄せられた声をとりあげ、給食の時間の改善を求めて質問。給食時間は、どの学校も準備10分、喫食15分、片付け5分の30分です。学校教育部長が、全校実施後しばらくしてから全員対象のアンケートを実施しその結果を見て、検討していきたいと答弁。献立の改善、給食センターの栄養士が教員と食育の授業を行うことについては、まずは栄養士が生徒、教師と接する機会を増やしていくと答弁がありました。

保護者の教育費の負担軽減を求めた質問では、今年度から、小6と中3の宿泊行事の補助額について、約3割減になっていることを明らかにしました。物価高騰で保護者負担が増えるなか、少なくとも補助を戻すべきだ、と求めました。



田中みほ市議

安心して出産できる市民病院の役割を問う

佐々木とも子市議は、安心して出産できる町田市民病院を求め質問。市民病院事務部長は、南多摩医療圏で唯一の地域周産期母子医療センターとして、24時間体制で新生児の命とハイリスクな妊婦であっても安心して出産できる高度で専門的な医療を提供していると答弁。夏場の災害時における避難施設の熱中症対策は、防災安全部長が「小中学校の体育館空調に加え大型非常用発電機を配置し、停電でも約72時間は熱中症対策ができる」と答えました。また、夏季休業中に中学校給食センターから学童保育クラブへ実施した昼食提供モデル事業を、来年度は全市に広げよう求めました。



佐々木とも子市議

本町田ひなた小前の歩道
街路樹180本伐採も暑さ対策なし

殿村健一市議は、「戦後80年、被爆80年」について、日本の過去の侵略戦争や植民地支配の歴史に向き合った外交が必要。核兵器禁止条約締結を求めようと質問しました。芹ヶ谷公園パークミュージアム計画は、市民合意はなく、入札も契約も成立せず、工事費増大と推進条件はないので白紙撤回せよと質問。部長は、予算が議決したから進めると答弁。本町田ひなた小の通学児童の暑さ対策を求めた質問に、部長は、180本の樹木を伐採したが、対策なしと答弁。森野住宅周辺再開発では、マンション価格の高騰が公社家賃に影響すると答弁しました。



殿村健一市議

請願・議案	日本共産党	市民クラブ	自民党	公明党	選ばれる町田	無所属	諸派	可否
国に対する速やかな生活保護費減額分の支給および利用者への謝罪を求める意見書提出を求める請願	○	○	×	×	×	○	△	採択
旧本町田小跡地にある「希望の森」を生かすことを求める請願	○	○	×	×	×	○	△	不採択
芹ヶ谷公園町田荘跡地擁壁工事整備の延期を求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
2025年度に行う鶴川第三小学校の外壁補修工事の実施後に統合を行うことを求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
町田市高齢者ホーム出張調髪利用券の発行継続に関する請願	○	○	○	○	○	○	△	採択
2025年度一般会計補正予算(第3号)	×	○	○	○	○	×	△	可決

○全員賛成、×全員反対、△一部賛成

無料法律相談

11月12日(水)・26日(水)

12月10日(水)・24日(水) 午後2時～5時

要予約 ☎042-723-6312まで

※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

どうぞ
お気軽に生活相談はいつでもお受けします
042-724-4030 日本共産党会派室2024年度一般会計・特別会計 決算認定に
日本共産党は反対!

その理由は

- 第1 市民生活の厳しさが続いている中で、国保税や介護保険料の値上げが行われた上に、市民税等の滞納者への徴収強化が進められた。市立の野球場利用料が1.5倍になるなど、民間施設に合わせた料金設定は、市民誰もが利用できる公共施設と矛盾する。
- 第2 公共施設再編計画に基づく学校統廃合計画の推進や、民間活力導入の「地域活用型学校」の検討など公教育の変質は重大問題。市立鶴川図書館が廃止され、さるびあ図書館も近隣住民に明確な説明がされない中で、集約・統合の準備が進められている。
- 第3 多摩都市モノレール延伸を軸にした町田駅周辺大規模開発や団地再生の検討が行われたこと。膨大な税金投入と大手デベロッパーの利益優先ではなく、「住まいは人権」や地域商店街の活性化を視点にしたまちづくりこそ求められる。
- 第4 芹ヶ谷公園パークミュージアム一体整備計画と野津田公園スポーツの森整備計画は、景観や自然環境の保全、市民の理解と合意が得られていない中で、推進で問題がある。
- 第5 正規職員の削減が進められ、会計年度任用職員などが増員された。雇用条件が不安定であり、安定した市民サービスの提供に問題がある。

以上の理由から日本共産党は、地方自治体本来の役割である「住民福祉の増進」という視点に立ったまちづくりと市政運営が求められると考えて、決算認定に反対しました。